

「令和6年度 道路整備効果検証業務委託」 業務説明資料

本説明書に記載した内容には、現在検討中のものも含まれるため、本プロポーザルのみの設定条件とし、将来の業務（設計）実施の条件となるものではありません。

1 件名

令和6年度 道路整備効果検証業務委託

2 履行期間

契約の日から令和7年3月24日（月）まで

3 履行場所

横浜市内

4 業務目的

横浜市では、幹線道路として、市内を環状方向に連絡し、市域の一体化を目的とした3本の環状道路と、市中心部と郊外部とを結ぶ10本の放射道路が計画されており、重点的に整備を進めております。

これらの幹線道路の一つである環状3号線は、磯子区杉田五丁目から都筑区佐江戸町を結び、延長約28kmに及ぶ大規模な交通施設であるため、本市中心部に集中する交通の分散と郊外部の連携強化と連動し、沿道地域の商業立地や産業活動、家計の消費活動などにも影響を与えることが期待されます。

道路整備は公共財であり、市場価値による評価ができないため、整備前において費用便益分析を実施して、道路整備によりもたらされる社会・経済的な効果（便益）を「走行時間短縮便益」「走行経費減少便益」「交通事故減少便益」により評価することが前提となっています。しかし、この費用便益分析は部分均衡に基づくものであるため、交通整備による財価格や賃金変化等を介してもたらされる経済波及効果を計測できておらず、道路整備による社会・経済へのインパクト評価としては限定的です。

そのため、本業務では、道路整備により発現した効果を多面的に計測するほか、地域の産業生産額等の効果を計測することが可能とされている特定した経済モデル（「空間的応用一般均衡（SCGE：Spatial Computable General Equilibrium）モデル」等）により、道路整備による経済効果を検証するものです。

5 業務概要

(1) 計画準備

業務着手にあたり、実施体制、実施工程、照査計画など業務計画を立案し、業務計画書として取りまとめる。

(2) 事例調査・整理

国内における道路等の整備による社会・経済波及効果の測定に係る取組を対象にして、経済分析モデルに関する先行研究・事例を収集・整理する。想定する経済分析モデルはSCGEモデル等とする。

(3) 経済モデルによる検証に向けた分析の枠組み整理

事例の調査・整理の結果、環状3号線について、分析・検証を行うための基本的な枠組みの

整理・検討を行う。

採用する枠組みは、実現性を踏まえた分析手法として適切性や妥当性の観点から選定する。

また、整理・検討の過程では、取組団体や有識者等へのヒアリングを数件程度実施する。

(4) **経済モデルによる道路整備効果の検証**

整備区間について、特定した経済モデルによる分析を行い、道路整備による経済効果を検証する。一部未整備の開通による部分整備の効果、全線開通の効果、いずれかを想定する。

(5) **整備効果の整理・分析**

特定した経済モデルによる分析結果を踏まえ、横浜市における道路整備事業の社会、経済効果を定量的に把握するための論点の整理や評価の枠組みを整理・検討する。

(6) **打ち合わせ協議**

業務の進捗させるため、打ち合わせ協議を実施してください。初回、中間5回、成果品納入時の計7回を想定する。

6 成果品

- (1) 成果品は、報告書を製本2部、電子データ（編集できるデータを含む）1部とし、本業務委託により作成した資料を全て含めてください。
- (2) 納入先は、道路局企画課とします。
- (3) 成果品は全て横浜市に帰属することとし、受託者は横浜市の承諾を得ずに使用または公表しないでください。

7 その他

- (1) 本業務を実施するにあたり、疑義が生じた場合は、委託者、受託者協議のうえ進めてください。
- (2) 業務の実施にあたり、委託者と打ち合せた結果を打合せ記録に取りまとめ、速やかに委託者の承諾を得るようしてください。
- (3) 並行して他部署・他機関において実施する関連業務と整合を図りながら進めてください。